

南地域まちづくり

第93号
令和3年4月1日発行
かわら版

【大口町これからの地域づくり】について 大口町これからの地域づくり提案書



平成30年11月に区長経験者、地域自治組織関係者及び町職員で構成された「大口町これからの地域づくり検討委員会」が2年間にわたり検討を重ねられ、令和2年11月に「これからの地域づくり提案書」を町長に提出されました。この提案者では、大口町のこれからの地域の理想の姿を実現していくために行政区を含む「地区」、「地域自治組織」「行政」に対して今後取り組むべき課題に対して提案されています。今回は、その中で地域自治組織に対する提案を抜粋して紹介します。

【地域自治組織に対する提案事項（抜粋）】

- ・ 事務所を設置し、事務局機能を充実させること
- ・ 地域自治組織と行政区が連携するために、地域自治組織の理事会等に区長が入る仕組みを構築し、区長しかできないこと、他の理事等で分担できることを仕分けし、区長の負担軽減を図ること。
- ・ 地区内の各種団体と意見交換をし、地域の課題を把握する仕組みを構築すること。
- ・ 事業の目的や役割の明確化、細分化をし、事業協力者を募る仕組みを構築すること。

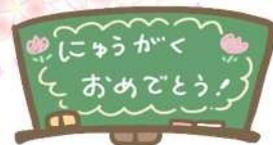
南地域自治組織では、令和3年度にまずは事務所を整備し、区長の皆様をはじめとした地域の方々との意見交換をしながら「これからの地域の理想の姿」の実現を目指し、順次取り組んでいきたいと考えています。



▲ヨシツヤ南にある長桜集会所を事務所としてお借りします

防犯・交通安全の意識付けを～新入学児童に配布～

4月6日（火）の小学校入学式に、北地域自治組織と中地域自治組織との連名で、南小学校の新入学児童とその保護者の皆さんへ、防犯・交通安全を主とした啓発チラシ等を配付しました。また、通学路の危険場所や道路等が記載されている「南地域安心・安全マップ」も同封しました。児童の皆さんも、これから外に出る機会が多くなることと思います。この安心・安全マップや啓発チラシ等をご覧いただき、ご家族そろって安全意識を高めていただくようお願いいたします。※新一年生の交通事故率は、高学年の約4倍とされています。より一層、交通安全に努めましょう。



▲ 啓発チラシ等



▲ 安心・安全マップ

南地域のたからもの vol.4 1 ～向きが逆転した道標～

「南地域のたからもの vol.17」でご紹介しました、替地の天神社から西側の道路向かいに、電柱とカーブミラーに挟まれて一本の道標が建っています。道標には、仏様と手を模した矢印とともに、「西國四國靈場 正眼寺」と大きく刻まれています。正眼寺は、現在の小牧市三ツ淵にあります。元々は一宮市内にありましたが、元禄2年（1689）に現在の地へ移転してきました。



道標「西國四國靈場 正眼寺」（秋田）

そして「西國四國靈場」とあるのは、西国十三所や四国八十八ヶ所への巡礼に直接行くことができない人のために、近隣の寺々を靈場としたり、一つのお寺の境内に靈場分の観音様を建てたりしました。このような「写し靈場」が、江戸時代後期に流行します。替地から三ツ淵への矢印を示すとすれば、右から左（南方向）ですが、この道標の矢印は左から右（北方向）となっています。時代を経ていく中で移設などにより、道標の向きが逆転してしまったと思われます。

◆ 「南地域まちづくりかわら版」は、大口町ホームページで見ることができます。

大口町ホームページ

<https://www.town.oguchi.lg.jp/4235.htm>

